石狩　一連の処理の行程　１／４　　（令和４年４月～令和５年３月）

受け入れ

廃プラスチック類：　444.32 t （前年度処理前保管量　1.41 t） 金属くず：　3,276.67 t （前年度処理前保管量　2.16 t） ガ陶くず：　40.62 t 廃電気機械類：　281.59 t （前年度処理前保管量　4.53 t） 複合廃棄物：　1,382.75 t （前年度処理前保管量　2.90 t） 廃乾電池：　0.18 t	石狩支店 汚泥（廃乾電池に限る。）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の破砕施設 許可番号　当保衛第１００－５号 廃プラスチック類：　441.68 t 金属くず：　3,266.21 t ガ陶くず：　39.44 t 廃電気機械類：　285.42 t 複合廃棄物：　1,380.25 t 廃乾電池：　0.17 t 合計処理量：　5,413.17 t	廃プラスチック類　→　中間処理後の廃棄物　：　自社管理型埋立処分場　441.71 t 金属くず　→　再生後の有価物　：　電炉メーカー・非鉄精錬へ売却　3,266.20 t 　→　中間処理後の廃棄物　：　自社管理型埋立処分場　0.01 t ガ陶くず　→　中間処理後の廃棄物　：　自社管理型埋立処分場　40.07 t 廃電気機械類　→　中間処理後の廃棄物　：　自社管理型埋立処分場　55.72 t 　→　再生後の有価物　：　電炉メーカー・非鉄精錬へ売却　229.77 t 　→　中間処理後の廃棄物　：　H社（中間処理　焼却）　0.00 t 複合廃棄物　→　中間処理後の廃棄物　：　自社管理型埋立処分場　398.39 t 　→　再生後の有価物　：　電炉メーカー・非鉄精錬へ売却　986.16 t 　→　中間処理後の廃棄物　：　H社（中間処理　焼却）　1.00 t 廃乾電池　→　中間処理後の廃棄物　：　自社管理型埋立処分場　0.17 t
廃蛍光管：　12.82 t （前年度処理前保管量　0.10 t）	石狩支店 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず （廃蛍光管）の破砕施設 12.60 t	回収水銀の処理委託（野村興産株式会社）　：　0.00 t 廃プラスチック類、金属くず、ガ陶くず（廃蛍光管） 　→　中間処理後の廃棄物　：　中間処理後の廃棄物：野村興産株式会社（焙焼）　13.01 t
廃プラスチック類 （廃タイヤ）：　56.74 t （前年度処理前保管量　0.03 t）	タイヤ資源化工場 廃プラスチック類（廃タイヤ）の破砕施設 許可番号　石環生第５４９２号 56.35 t	廃プラスチック類 （廃タイヤ）　→　再生後の有価物　：　道内製紙メーカーへボイラー燃料として売却　56.35 t
廃プラスチック類：　0.00 t	タイヤ資源化工場 廃プラスチック類の破砕施設 許可番号　石環生第２７５９号	電炉メーカー・非製鉄製錬へ売却。残さは、自社管理型埋立処分

石狩　一連の処理の行程　２／４　　（令和４年４月～令和５年３月）

受け入れ

廃プラスチック類：　379.87 t
（前年度処理前保管量　0.63 t）

→ 廃プラスチック類の破砕施設
廃プラスチック類：　379.26 t

木くず：　381.47 t
（前年度処理前保管量　6.72 t）

→ 木くず、繊維くずの破砕施設
許可番号　石環生第２７２１号
木くず：　388.19 t

紙くず：　15.09 t

→ 紙くずの破砕施設
紙くず：　15.09 t

→ RPF（廃プラスチック類、紙くず、木くず）の製造施設×２基
廃プラスチック類：　379.26 t
木くず：　388.19 t
紙くず：　15.09 t
合計処理量：　782.54 t

→ RPF
→　再生後の有価物　：　道内製紙メーカーへボイラー燃料として売却　782.54 t

廃プラスチック類
（廃発泡スチロール）：
0.85 t

→ ＯＡ解体工場
廃プラスチック類（廃発泡スチロール）の破砕・溶融施設
0.85 t

→ 廃プラスチック類
（廃発泡スチロール）：　→　再生後の有価物　：　樹脂原料として売却　0.85 t

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器類）：
0 t
紙くず、金属くず（箔）　0 t

→ ＯＡ解体工場
廃プラスチック類、紙くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器類）の破砕・選別施設

→ ＯＡ機器類：　→　電炉メーカー・非鉄精錬へ売却。残さは、自社管理型埋立処分　0 t
紙くず：　→　自社RPF製造施設で原料として利用

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器・電子機器類）：
0 t

→ ＯＡ解体工場
廃プラスチック類、紙くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器・電子機器類）の破砕施設

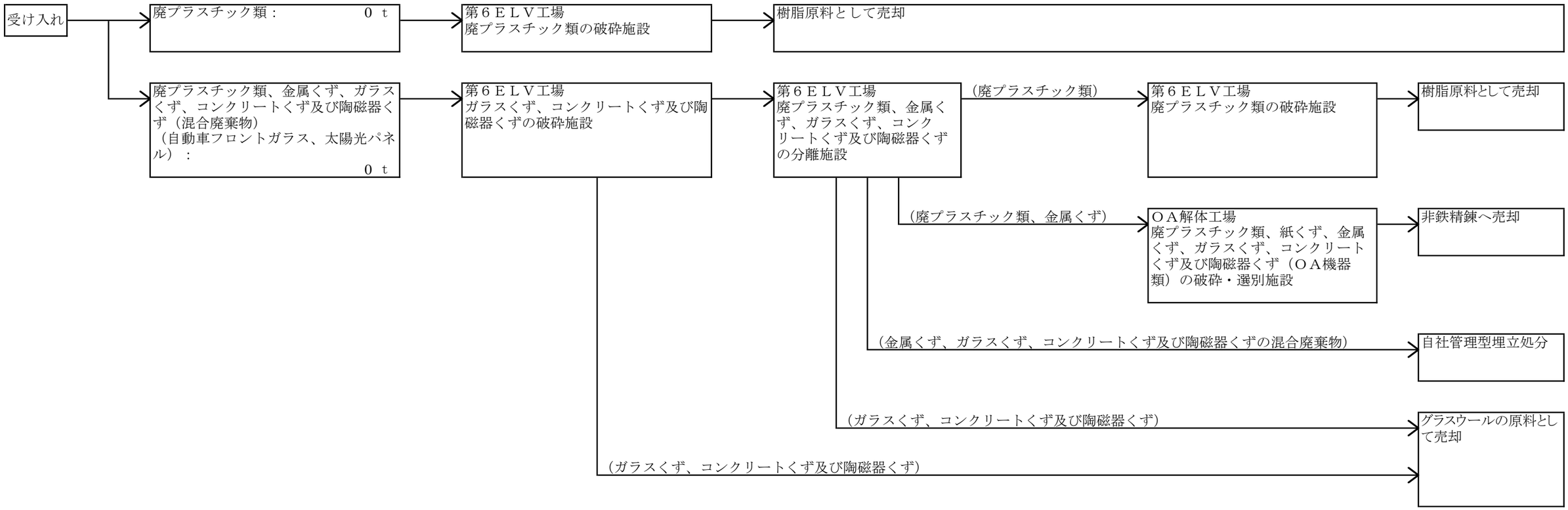
→ 廃プラスチック類（基板、筐体プラスチック類）：　基板は非鉄精錬へ売却。プラスチック類は自社RPF製造施設で原料として利用
金属くず　：　電炉メーカー・非鉄精錬へ売却
廃プラスチック類、紙くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（混合した破砕残さ）　：　自社管理型埋立処分

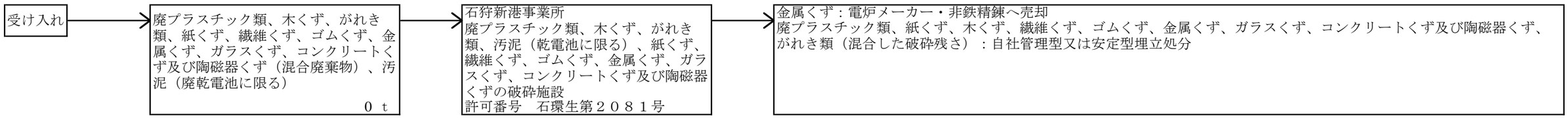
廃酸（廃定着液）：　0 t

→ 第２ＯＡ解体工場
廃酸（廃定着液）の銀の回収（電気分解）施設

→ 回収した銀は売却。廃酸は他社へ処理委託

石狩　一連の処理の行程　３／４　　（令和４年４月～令和５年３月）

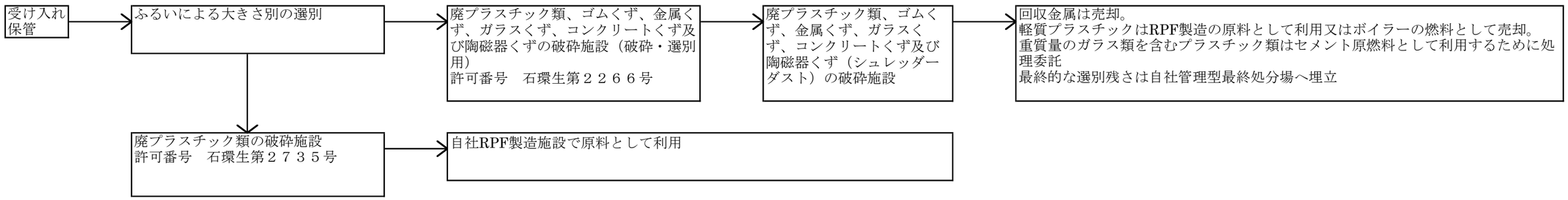




受入量：	6,272.97 ｔ

処理前保管量	25.92 ｔ
処理後保管量	3.24 ｔ

持出量：	6,271.95 ｔ

石狩　一連の処理の行程　４／４　　（令和４年４月～令和５年３月）

参考：ASR資源化工場　自動車破砕物残さ（ASR）処理工程